

## 第 30 回防災文化講演会「親子で学べる防災教室 ～津波・地盤災害・土砂災害～」を開催しました(2019/07/27)

テーマ：夏休みの自由研究

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kouenkai.html>

7月27日(土)に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館研修室 A・B にて、第30回防災文化講演会(主催：東北大学災害科学国際研究所，共催：気仙沼市)を開催しました。当研究所は平成25年7月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。その活動の一環として、防災に関する講演会を年に数回開催しています。

第30回を迎えた今回は、初の試みとして子供を対象として、「夏休みの自由研究のために」をテーマに2つの講演の後、「防災スタンプラリー」と「液状化実験」を体験しました。講演では、当研究所の保田真理プロジェクト講師(寄附研究部門)から①「津波から命を守るために」、同じく当研究所の森口周二准教授(地域・都市再生研究部門)から②「地盤災害・土砂災害から守るために」と題して講演を行いました。全体進行は、森口准教授がつとめました。当日は57名(うち子ども23名)の方にご参加いただきました。子供達は楽しみながらも、真剣に体験に取り組み、大人にはない視点で意見を述べるなど、盛会のうちに終わりました。



講演①・保田真理プロジェクト講師



講演②・森口周二准教授



体験の様子①



体験の様子②

文責：塚本卓(気仙沼分室スタッフ)  
佐藤翔輔(人間・社会対応研究部門)